

# 標準CMSとしてのWordPressの現状

— 電子媒体における情報デザインのための事例研究 3

Current Status of "WordPress" as the de facto standard CMS - Case Study for the Information Design on Electronic Media 3

井上 貢一

INOUE Koichi

九州産業大学

Abstract : I've reported about the possibility of WordPress two years ago. Today, WordPress is a CMS of de facto standard.

WordPress is OpenSource software, and PHP and MySQL which WordPress is dependent are also OpenSource. So, Everyone can introduce easily and can also customize the in-depth part.

Keywords : *WordPress, Content Management System, Information Design*

In this research, I will report the current status of WordPress based on topics on the web and my experience.

According to become famous, vulnerability is pointed out became many, but the problem has been fixed quickly because of the open mechanism. And now, source code which WordPress outputs is a role model of sustainable WebSite.

## 1. はじめに

Web サイトをはじめとする電子媒体上のコンテンツには、日々更新・再構築されるという前提があり、持続可能性の高いシステムの構築が求められる。本稿は、現在事実上の標準CMSとなったWordPressについて、2年前の報告<sup>1)</sup>の「その後」の状況を、筆者が関わった導入事例とWebフィールド調査をふまえて報告するものである。

## 2. 研究の目的と背景

Web ページの記事や画像をブラウザ（クライアント側）から操作・管理するソフトウェア（サーバー側で動作）を総称してCMS（Content Management System）といい、日々の記事更新をユーザーの手で行うWebサイトでは、CMSの導入が一般的になっている。CMSが話題になりはじめた2005年頃はユーザーの選択枝も多かったが、現在ではMatt Mullenwegらが開発したWordPress<sup>2)</sup>が事実上の標準となり（図1）、大手企業から個人にいたるまで様々なサイトの基幹システムとして導入が進んでいる<sup>3)</sup>。

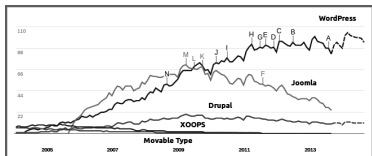


図1. Google Trendsによる「WordPress」検索の推移

2年前の発表では、なぜWordPressの話題性が上昇しているのかという点に注目し、結論として「壊れない安定性（保障）」ではなく、「壊れても修復できるオープンな仕組み」があることにすぐれた持続可能性があることを報告した。

以下、WordPressの「その後」について、基本的な特徴の確認、導入事例、Web上の話題について、順に報告する。

## 3. WordPressの特徴

まず、WordPressを導入する基本的なメリットについて、Web上の話題を抽出、列挙してみたい。

- ・オープンソース（ライセンスGPL・無償）である
- ・PHPとMySQL<sup>4)</sup>（標準的なサーバー環境）で動作する
- ・HTML5 + CSS3によるWeb標準に準拠した記述
- ・PC、タブレット、スマホに対応するレスポンシブデザイン
- ・「固定ページ」の利用で一般的な構造のサイト構築が可能
- ・テーマ（スキン）が豊富で、その編集が管理画面から可能
- ・Web上にプラグイン（拡張機能）が豊富
- ・Web上に日本語フォーラムほか、各種開発関連記事が豊富

一方、デメリットとしては「表示が重い（通常のHTMLサイトと比較してPHPの処理に時間を要する）」ことや、「データベースシステムに依存することのリスク」、また「規模に応じた難解さがある（初心者にはハードルが高い）」ことなどが挙げられるが、Web上の記事でWordPressのデメリットを検索すると、何を比較対象としても結果的には「デメリットは無い」、あるいは「解決は時間の問題」といった結論の記事が大半である。また、現在では競合するCMSも存在しないという特殊な状況下であり、あえて言えば、普及に応じてそれを狙ったウイルスも増えている…という点が唯一の問題である。

## 4. WordPressの導入事例

筆者は平成25年に「NPO法人芸術の森デザイン会議」<sup>5)</sup>のWebサイトの導入に関わった（ボランティア）。法人の担当者自らが更新を行う前提で、検討段階では、サーバー環境が推奨するCMSとして、PukiWiki<sup>6)</sup>とWordPressの2つが候補となったが、「複数ユーザーのパスワード管理が簡単」であることと、「編集担当者の学びのモチベーション」を主な理由としてWordPressを採用することとなった（図2,3）。仕様は以下のとおりである。

- ・CMS : WordPress Ver 3.6
- ・デザイン : WordPress テーマ「Twenty Twelve」をカスタマイズ  
index.php（メイン） single.php（単一記事） page.php（固定ページ）  
header.php（ヘッダー） sidebar.php（サイドバー） footer.php（フッター）  
style.css（スタイルシート）
- ・サーバー環境 : Linux / Apache PHP Ver. 5.4.12 MySQL Ver. 5.0.45
- ・URL : <http://afdn9.com>

導入時に2時間程度、記事の更新を担当する法人スタッフに対し、管理画面の使い方と記事の投稿手順について説明を行ったが、後は、担当者自らWeb上のFAQ等を参考に、記事の投稿のみならず、ヘッダー画像やメニューのカスタマイズも行っている。データベースのバックアップも管理画面から可能となっており、導入から一カ月後にその手順を担当者に伝えた後は、筆者（導入者）によるサポートはほぼ不要となった。

他のケースでも同様であったが、日常的な業務で文書の作成やWebサイトの閲覧を行うスキルがあれば、導入後の記事更新は問題なく遂行できる。使い慣れるにしたがって担当者自ら「デザインのカスタマイズにも挑戦したい」、「自分個人のブログも立ち上げてみたい」といったモチベーションの高まりがみられ、WordPressの導入がさらなるWordPressサイト導入の契機になると考えられる。

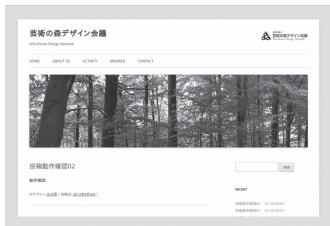


図 2. 導入事例 : <http://afdn9.com>



図 3. 上の管理画面 (ダッシュボード)

表 1. Google サジェストによる注目のキーワード

文字	絞り込み候補	2013年8月
空白	テンプレート	テーマ インストール ログイン 使い方
a	アクセス解析	アクセスカウンター アイキャッチ アフィリエイト amazon
b	ブログ	bloginfo bootstrap バージョン ビジュアルエディタ
c	codex	css content contact form 7 com
d	デザイン	ダウンロード テイクトリ ドメイン変更 データベース
e	ecサイト	絵文字 エディタ エラー elseif
f	facebook	functions.php フォーラム 不動産プラグイン 福岡
g	ギャラリー	get_posts get_template_part ギャラリープラグイン googleカレンダー
h	https	ホームページ 引越し フォーラム 不動産プラグイン
i	インストール	移行 イベントカレンダー is_page iPhone
j	jquery	条件分岐 javascript jetpack 自動投稿
k	固定ページ	カスタマイズ カスタムフィールド カレンダー 管理画面
l	login	lightbox logo localhost link
m	マルチサイト	無料 無料サーバー 文字化け 文字サイズ
n	日本語	入門 ネットショップ 年別アーカイブ nginx
o	オリジナルテーマ	orderby 重い oggプラグイン おすすめプラグイン
p	プラグイン	パーマリンク ページネーション パーミッション バックず
q	query_posts	q&aプラグイン qtranslate quiz クラウド
r	ログイン	rss レスポンス ローカル レンタルサーバー
s	seo	サーバー snsプラグイン スラッグ スマホ
t	テンプレート	テーマ 使い方 theme とは
u	url変更	ウィジェット upstream ubuntu user
v	version	video vip vps vicuna
w	wiki	welcart wp_head wp_query windows
x	xampp	xml xmlrpc xserver xrea
y	予約システム	ユーザー権限 ユーザー登録 youtube ユーザー名
z	条件分岐	脆弱性 自動投稿 自動保存 事例

表 2. 参考: 2011 年調査時の同キーワード

文字	絞り込み候補	2011年8月 (参考)
空白	テーマ プラグイン テンプレート インストール 使い方	
a	アクセス解析	アイキャッチ amazon アンインストール アップデート
b	blog	backup バージョン br 抜粋
c	cms	codex css category csv
d	デザイン	ダウンロード データベース dreamweaver 動画
e	絵文字	ec エクスポート エディタ 閲覧制限
f	facebook	複数 フォーム フォーラム favicon
g	ギャラリー	get_posts googlemap 画像挿入 get...
h	html5	複数 フォーム 本 引っ越し
i	インストール	iPhone 移行 importer いいね
j	jquery	javascript 事例 自動投稿 japan
k	カスタマイズ	管理画面 カレンダー 固定ページ 携帯
l	lightbox	login loop logo linux
m	マルチサイト	MySQL メニュー 無料 mac
n	日本語	入門 人気記事 ナビゲーション ネットワーク
o	org	openid 競ページ 重い 遅い
p	プラグイン	パーマリンク php バックず パーミッション
q	query_posts	quick cache query_string qtranslate qrコード
r	ログイン	rss リンク ローカル ログ
s	seo	サーバー 設定 sns サイトマップ
t	テーマ	使い方 twitter タグ とは
u	ウィジェット	url ubuntu user update
v	vicuna	visual editor vote version video
w	wiki	wp_query widget windows wptouch
x	xampp	xmlrpc xrea xml xoops xwd jp
y	youtube	予約投稿 予約システム ユーザー管理 ユーザー登録
z	条件分岐	事例 自動投稿 自動保存 自動更新

## 5. WordPress の現状に関する Web フィールド調査

次に WordPerss に関する話題の現状について調査結果を報告する。先行研究と同様、Google (<http://www.google.co.jp/>) のサジェスト機能<sup>7)</sup>による注目キーワードの抽出を行った。

検索窓に文字列入力を始めると同時に絞り込みキーワード候補が表示されることを利用し、「WordPress a」、「WordPress b」、という順に「a」から「z」まで変化させながら、「WordPress」に続く絞り込みキーワードにどのような候補が出現するかを調べた。調査は 2013 年 8 月 5 日～ 19 日の間。検索地は日本(福岡)である。

### 5.1. キーワードの抽出

キーワードのアルファベット順に上位 5 ワードを列挙したものを表 1 に示す。尚、表の一行目は、「WordPress」という単語のみの場合のサジェスト候補である。また、比較の目的で、2 年前の調査時の結果を表 2 に示す。

サジェストされたキーワードの全体的な傾向は、2 年前と大きく変わらないが、例えば「dreamweaver」や「mac」といった直接的には無意味な問い、すなわち初心者のもと思われる検索が減り、「functions.php」や「不動産プラグイン」など、開発者スタンスの具体的な用語検索が増えていることがわかる。

### 5.2. 注目されている話題

これらのキーワードの中から 2 年前には出現しなかった新たな話題について、特筆すべき点を以下に述べる。

#### 1) 脆弱性

大規模サイトでの本格運用が進んでいることから「脆弱性」が話題となることも増えたが、サーバーアプリケーション同様、オープンソースであるがゆえに対応も早い。「便利なツール」はクラッシュ時の被害が大きい、仕組みがオープンであることが対策を容易にし「枯れた技術<sup>9)</sup>」を蓄積させる。

#### 2) 福岡

このキーワードで検索上位にヒットするのは、「Web 制作を請け負う福岡の企業」のサイトで、「WordPress による Web サイト構築」の需要が増えていることがわかる。

#### 3) プラグイン

「ogg(Open Graph Protocol)」、「q&a(Question & Answer)」、「不動産」など新たなキーワードは、いずれも WordPress の機能を拡張するプラグインである。また「おすすめプラグイン」という問いは、Web 上のそれがあまりに膨大な量となって、選択に困る状況になっていることを物語っている。

## 4) レスポンシブ

この 2 年間でスマートフォンとタブレットが一気に普及した。デバイスごとにフレキシブルに表示構造を変化させる「レスポンシブ・デザイン」が昨今話題であるが、WordPress のテーマは CSS3 の Media Queries による条件分岐を他に先駆けて取り入れていた。一般的なサイト構築においても、WordPress の吐くコードがお手本となる状況になっている。

## 6. 結び

サーバーの専門用語等に不慣れた初心者を前提とした場合、最初のインストールが最大の難関なのだが、その後は、記事の投稿にはじまって、メニューやウィジェットのカスタマイズ、そしてテンプレートやスタイルの編集、最終的には、新たなサイトのインストールへと、経験値は自然と上がっていく。WordPress はユーザーの好奇心を次々と引き出し、その仕組みを理解させてユーザーを自立させるツールなのである。その意味では「最初の導入の手助け」さえあれば、誰もが Web の開発者になることができる状況になったといえよう。

「作って提供する」という Web デザインはサスティナブルではない。今求められているのは世界中で多くのボランティアが行っている「技術支援」と同様に、「作るための技術の提供」あるいは「教育」である。オープンなホワイトボックスとして提供される WordPress は「誰にでも簡単に手に入れられ、小さな規模で応用でき、ユーザの創造力を喚起する」<sup>8)</sup> ツールとして、さらに多くの人々の情報発信・共有に活用されるであろう。

註)

- 1) Web デザインにおける WordPress の可能性, 2011, 井上貢一, 日本デザイン学会第 5 支部平成 23 年度研究発表会概要集, pp.76 - 77
- 2) WordPress : Web ソフトウェア (CMS) <http://wordpress.org/>
- 3) W3Techs(<http://w3techs.com>) によれば、2013 年 7 月、WordPress は全 Web サイトの 19.0%、CMS 市場では 57.1% を占める。
- 4) PHP : 動的なページ生成を目的とした言語 <http://php.net>
- MySQL : データベース管理システム <http://www.mysql.com>
- 5) 「九州芸文館」の代表管理団体で「九州クリエイターズマーケット」等も主催する
- 6) PukiWiki : PHP のみで動作する軽量 Wiki <http://pukiwiki.sourceforge.jp>
- 7) <http://labs.google.com/init/ja/suggestfaq.html>
- 8) E.F.Schumacher, 1973, Small is Beautiful, Blond & Briggs
- 9) 問題点が出尽くして安定した技術。一般にソフトウェアに対して使われる。